

政策の優先順位づけ

“あれもこれも” から“あれかこれか”への試み

2014年5月16日

高崎経済大学 地域政策学部 教授
地域政策研究センター長 佐藤 徹
(行政学・政策科学・政策評価論)

自治体レベルの事例を中心に

行政が行う優先順位づけ



住民が行う優先順位づけ



優先順位づけの**制度設計**上の論点

行政が行う優先順位づけ



住民が行う優先順位づけ



優先順位づけの**制度設計**上の論点

戸田市 施策評価シート

優先度の高い事務事業の順に、「A」「B」「C」をつける。

作成日	平成25年06月26日	作成次長名	評価者名	細野 守司
-----	-------------	-------	------	-------

施策を担当する
部局の次長

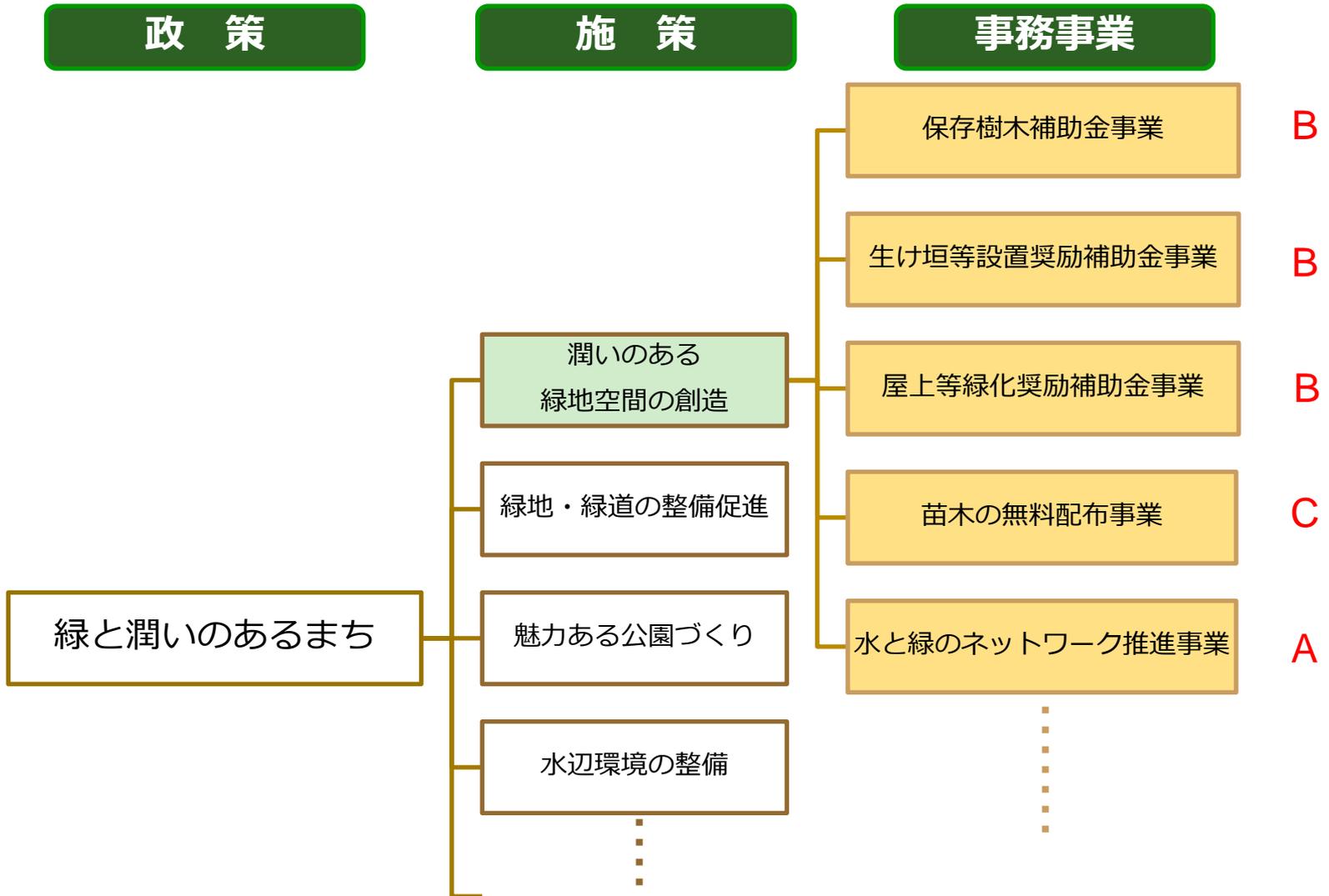
5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名 事業コード 事業内容	事業区分 H26 計画額	事務事業評価の結果						★事務事業の方向性			H 26 予 算 額	事業費 うち 一般財源			
				H24決算額		事業の方向性	実施計画候補	評価結果				事業の方向性			実施計画候補	施策内優先度	コメント
				H25予算額				経費水準	事業手法	受益・負担の公平性							
				事業費	うち一般財源						人件費						
02		緑化普及啓発費 (環境政策課)															
	01	保存樹木補助金事業		2,664											0		
				3,113													
	01	01 08 04 07 02 01 規則に合致した樹林、竹林・樹木、生け垣に、補助金を交	任意	2,956	1	B	B	B	B	1	B			0			
		生け垣等設置奨励補助金事業		2,956													
				2,304													
	02	新たに生け垣、緑化フェンス若しくは花壇を設置する者又	任意	270	1	B	B	B	B	1	B			0			
		屋上等緑化奨励補助金事業		920													
				1,240													
				1,240													
				1,646													
	03	建築物の屋上に植栽基盤を整備し、樹木、地被植物等によ	任意	114	1	B	B	B	B	1	B			0			
		苗木の無料配布事業		1,000													
				1,500													
				1,500													
				1,317													
	04	秋に年1回、市内5会場で季節の草花を配布した。	任意	2,580	1	B	B	C	C	1	C	配布樹種や配布方法などについて検討していく。		0			
				3,041													
				3,044													
				2,614													
				2,634													
	05	水と緑のネットワーク推進事業	任意	12,260	1	○	A	B	A	B	1	○	A	水と緑のネットワーク形成プロジェクトは、具体的な事業実施に向けて関係する各課と調整を行う。	0		
				8,866													
				9,000													
				9,000													
				5,926													
		緑化事務費		0													

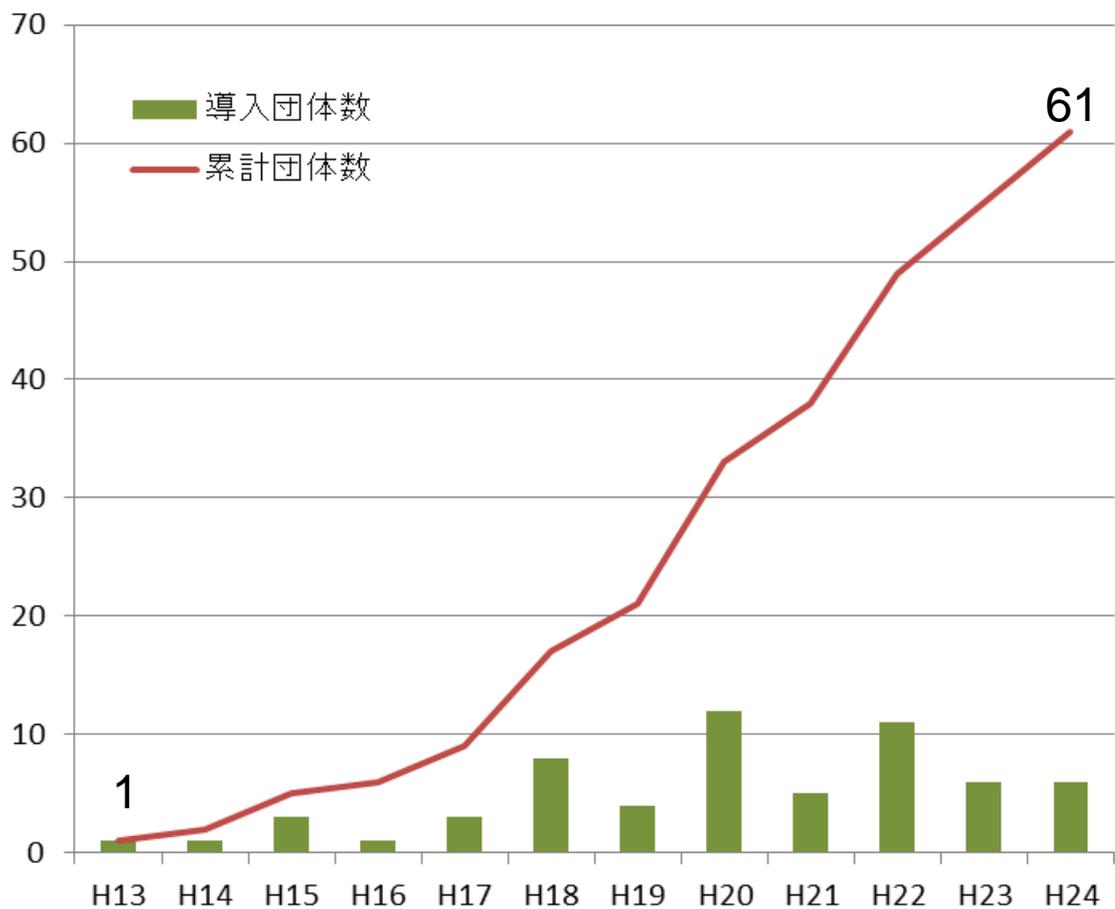
出所：平成25年度戸田市施策評価シートに一部加筆

目的-手段の階層構造



出所：『戸田市第4次総合振興計画』をもとに作成

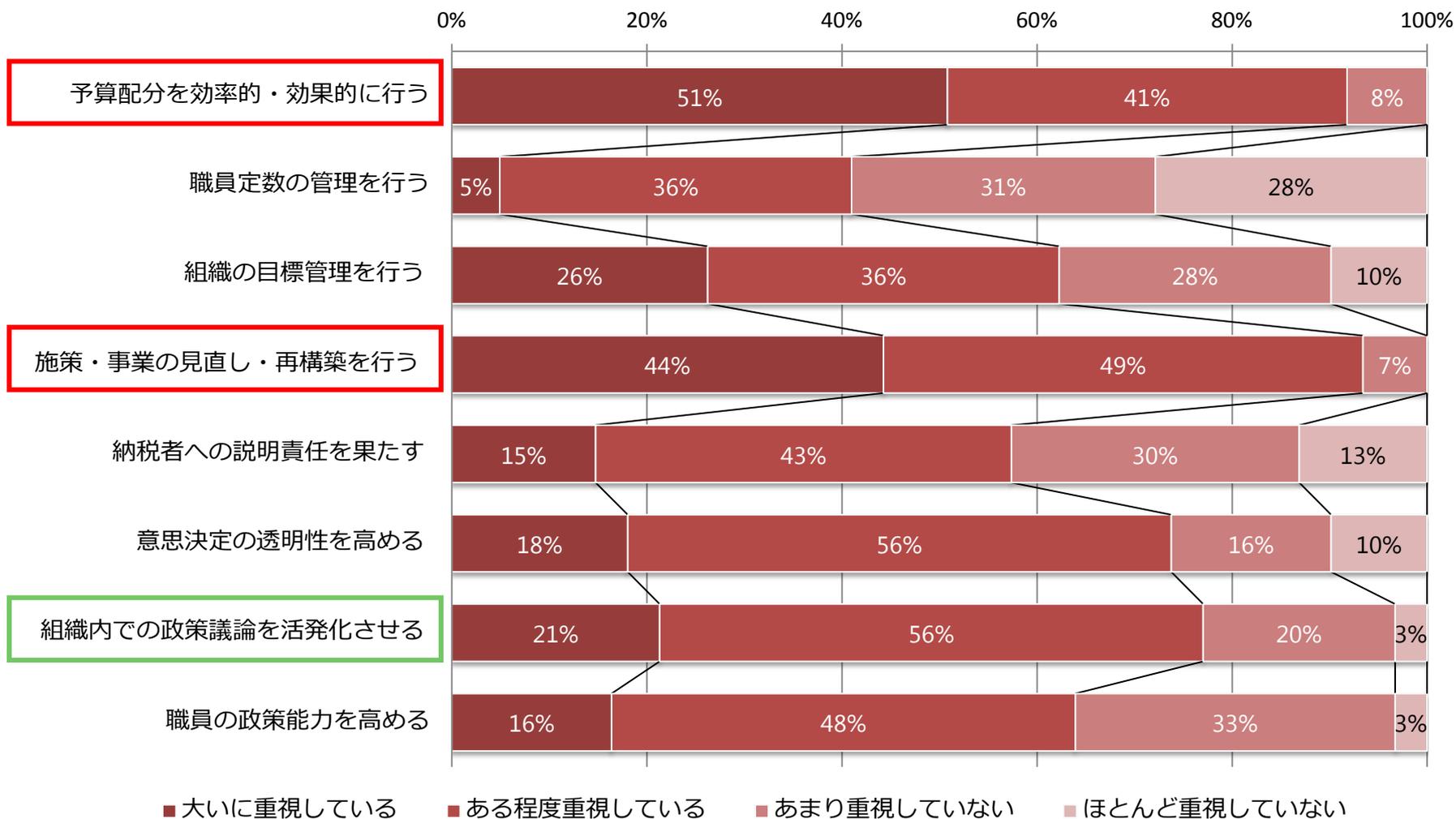
施策評価における 事務事業間の優先順位づけ



(注) 『行政評価と行政経営に関する全国自治体調査』(調査対象=全国の市・区810団体、回収率73.8%、2012年実施)において、施策評価で事業間の「優先順位(狭義)づけ」又は「優先度づけ」を実施していると回答した84団体の行政評価担当課宛に調査票を送付。61団体から有効回答が得られた。

優先順位づけの目的

N=61



出所：佐藤徹『施策評価での優先順位づけ・優先度づけに関する全国自治体調査』（H24年11月）

優先順位づけの評価基準

- 行政評価担当部門が施策担当部門に対して、あらかじめ優先順位づけの際の評価基準を示していない自治体は**57.4%**（35団体）。

経済性	効率性	有効性	必要性	先進性
5	13	23	15	2
19.2%	50.0%	88.5%	57.7%	7.7%
緊急性	負の外部性	地域性	公約実現性	その他
15	1	0	5	9
57.7%	3.8%	0.0%	19.2%	34.6%
(注) 基準を提示している26団体に対する比率				

行政が行う優先順位づけ



住民が行う優先順位づけ

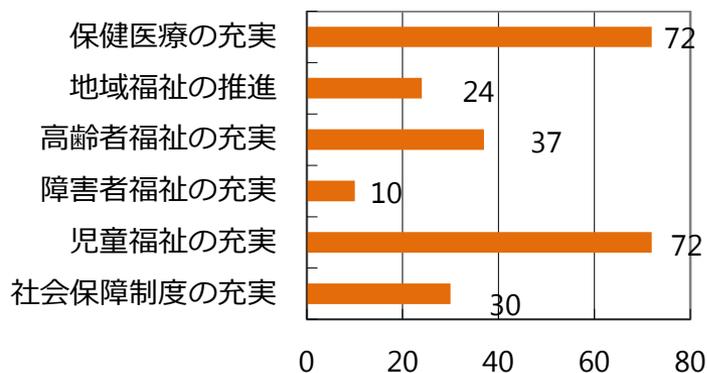


優先順位づけの**制度設計**上の論点

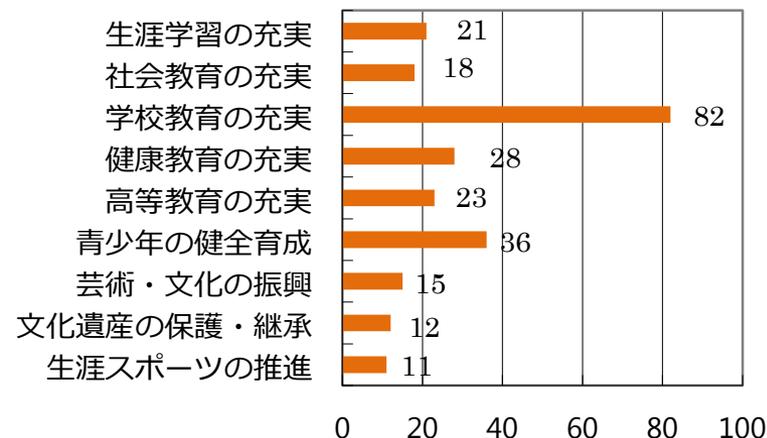
優先順位づけの結果（抜粋）

－ たかさき市民討議会VOICE2011（2011年9月） －

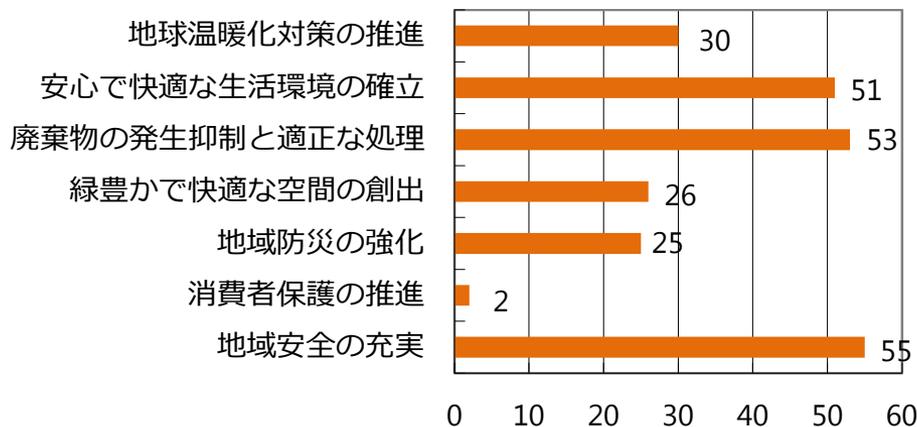
「健康・福祉」分野



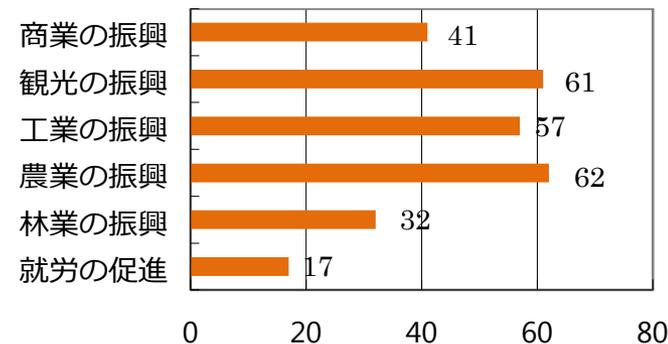
「教育・文化」分野



「環境・安全」分野

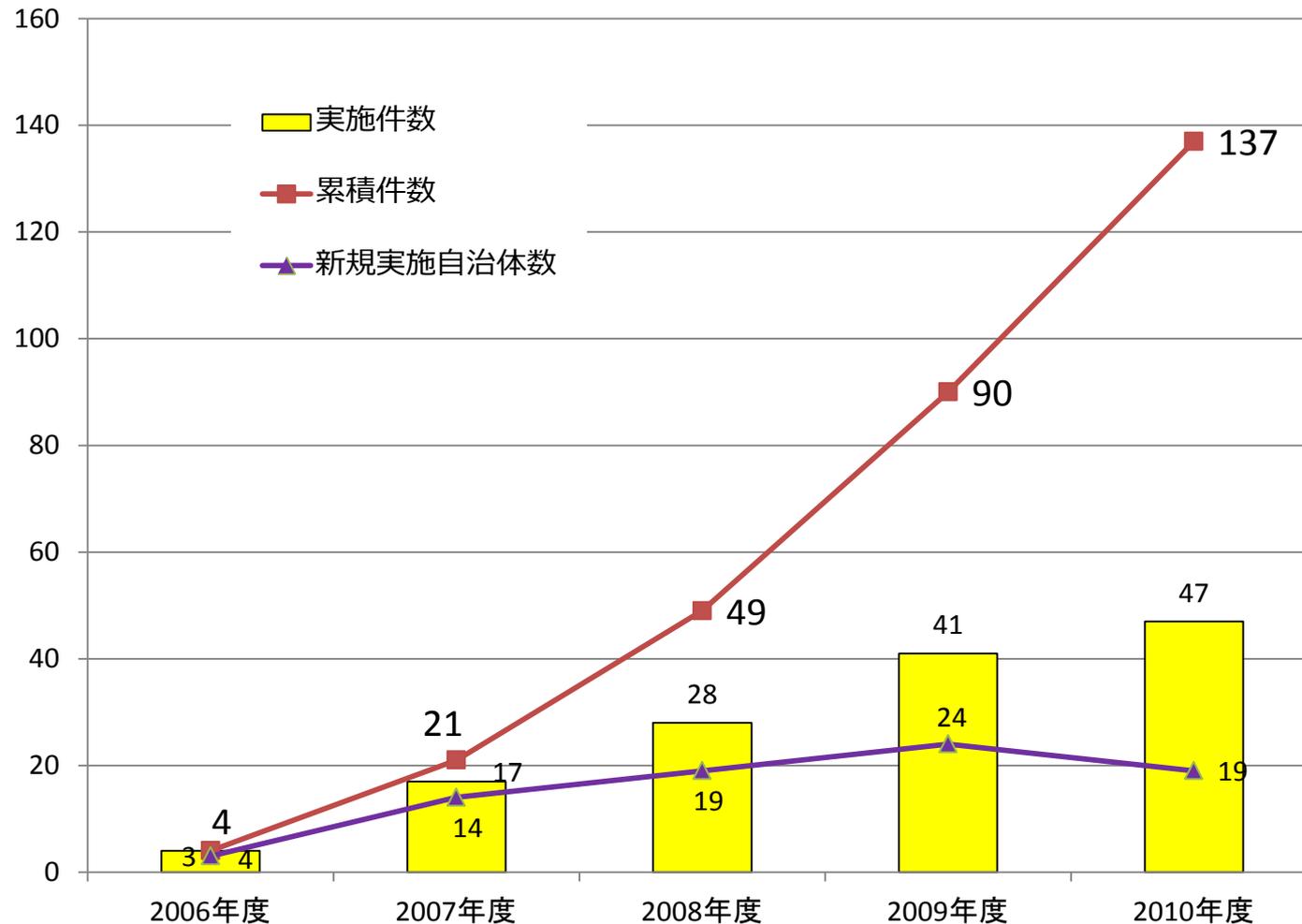


「産業・観光」分野



（注）全てのグループ発表を聞き終えた後に、参加者各自が投票シートに記入した優先順位をもとに、第1位から第3位までの課題（施策）にそれぞれ3点、2点、1点を付与し、課題別の得点を集計したものである。

市民討議会の年度別実施件数



出所：佐藤徹「市民討議会の広がりとその動向」『月刊 地域開発』（2012年7月号）

市民討議会とプラーヌクスツェレ

たかさき市民討議会VOICE2011	プラーヌクスツェレ
高崎市の今後のまちづくりの重要課題を討議	解決が必要な、真剣な課題に対して実施
満18歳以上の市民2000名を住民基本台帳から 無作為抽出	参加者を住民基本台帳から 無作為で抽出
有償（5000円）、1日半	有償 で一定期間参加（ 4日間 ）
高崎青年会議所と高崎市が 実行委員会 をつくり実施	中立的独立機関 が実施機関となり、プログラムを実施する
42名で構成、1回のみ開催	原則25名で構成、複数開催
実行委員会メンバーが情報提供者	専門家や利害関係者から情報提供をうける
右 同	毎回 メンバーチェンジ しながら、約5名の小グループで、参加者のみが討議を繰り返す
意見を報告書としてまとめ、実行委員会が高崎市長に手渡す	「市民答申」という形で報告書を作成し、参加した市民が正式な形で委託者（行政機関）に渡す

当日のタイムテーブル

1日目 (H23年9月3日 (土))		2日目 (H23年9月4日 (日))	
	12:00~12:30 受付		09:30~09:50 受付
	12:30~12:35 主催者挨拶		09:50~10:00 前日のおさらい
	12:35~12:40 高崎市長挨拶		
1コマ目 (30分)	12:40~12:50 進め方の説明 10分	5コマ目 産業・観光 (85分)	10:00~10:15 情報提供 15分
	12:50~13:10 アイスブレイク 20分		10:15~10:55 討議 40分
	13:10~13:15 休憩 (5分)		10:55~11:25 発表・投票 30分
2コマ目 健康・福祉 (85分)	13:15~13:30 情報提供 15分	6コマ目 都市・建設 (85分)	11:25~12:15 休憩・昼食 50分
	13:30~14:10 討議 40分		12:15~12:30 情報提供 15分
	14:10~14:40 発表・投票 30分		12:30~13:10 討議 40分
	14:40~14:50 休憩 (10分)		13:10~13:40 発表・投票 30分
3コマ目 教育・文化 (85分)	14:50~15:05 情報提供 15分	7コマ目 地域・自治 (85分)	13:40~13:55 休憩 (15分)
	15:05~15:45 討議 40分		13:55~14:10 情報提供 15分
	15:45~16:15 発表・投票 30分		14:10~14:50 討議 40分
	16:15~16:25 休憩 (10分)		14:50~15:20 発表・投票 30分
4コマ目 環境・安全 (85分)	16:25~16:40 情報提供 15分	8コマ目 まとめ	15:20~15:35 休憩 (15分)
	16:40~17:20 討議 40分		15:35~16:35 討議 60分
	17:20~17:50 発表・投票 30分		16:35~17:05 発表・投票 30分
	17:50~18:00 2日目のスケジュール説明		17:05~17:20 事後アンケート 15分
			17:20~17:30 閉会 挨拶 10分

出所：佐藤徹「討議デモクラシーの実践過程—市民討議会の到達点と課題」『地域社会研究』第22号、2013年3月



☞ グループ内の討議風景

グループ発表の様子



出所：『たかさき市民討議会VOICE2011事業報告』（高崎青年会議所）

行政が行う優先順位づけ



住民が行う優先順位づけ



優先順位づけの**制度設計**上の論点

優先順位づけの制度設計上の論点

優先順位づけは、意思決定者に合理的な判断材料を提供するもの

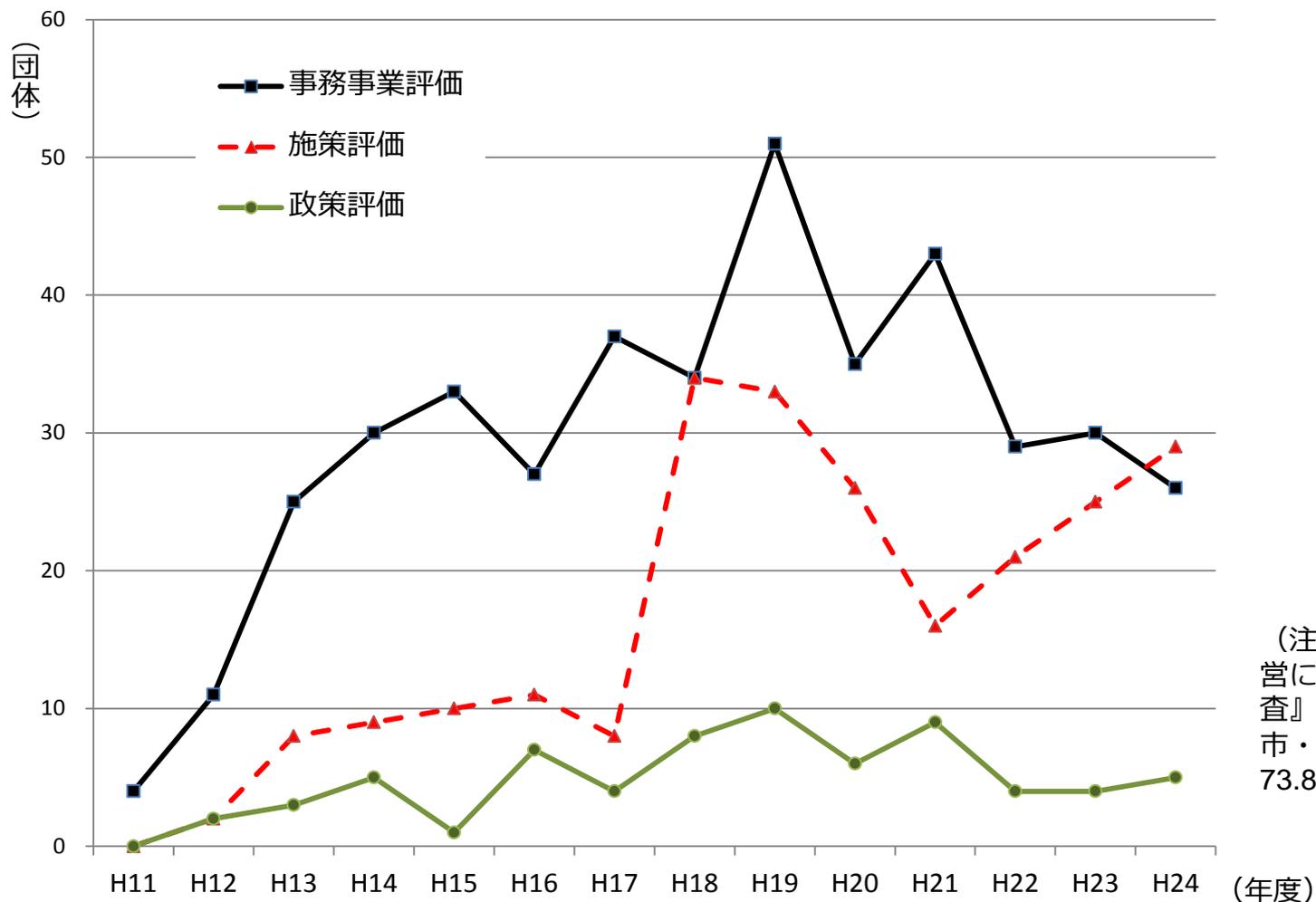
- 誰が優先順位をつけるか
- どのような方法で優先順位をつけるか
- どのタイミングで優先順位をつけるか
- どの対象レベルで優先順位をつけるか
- 優先順位づけの結果を何に活用するか



參考資料編

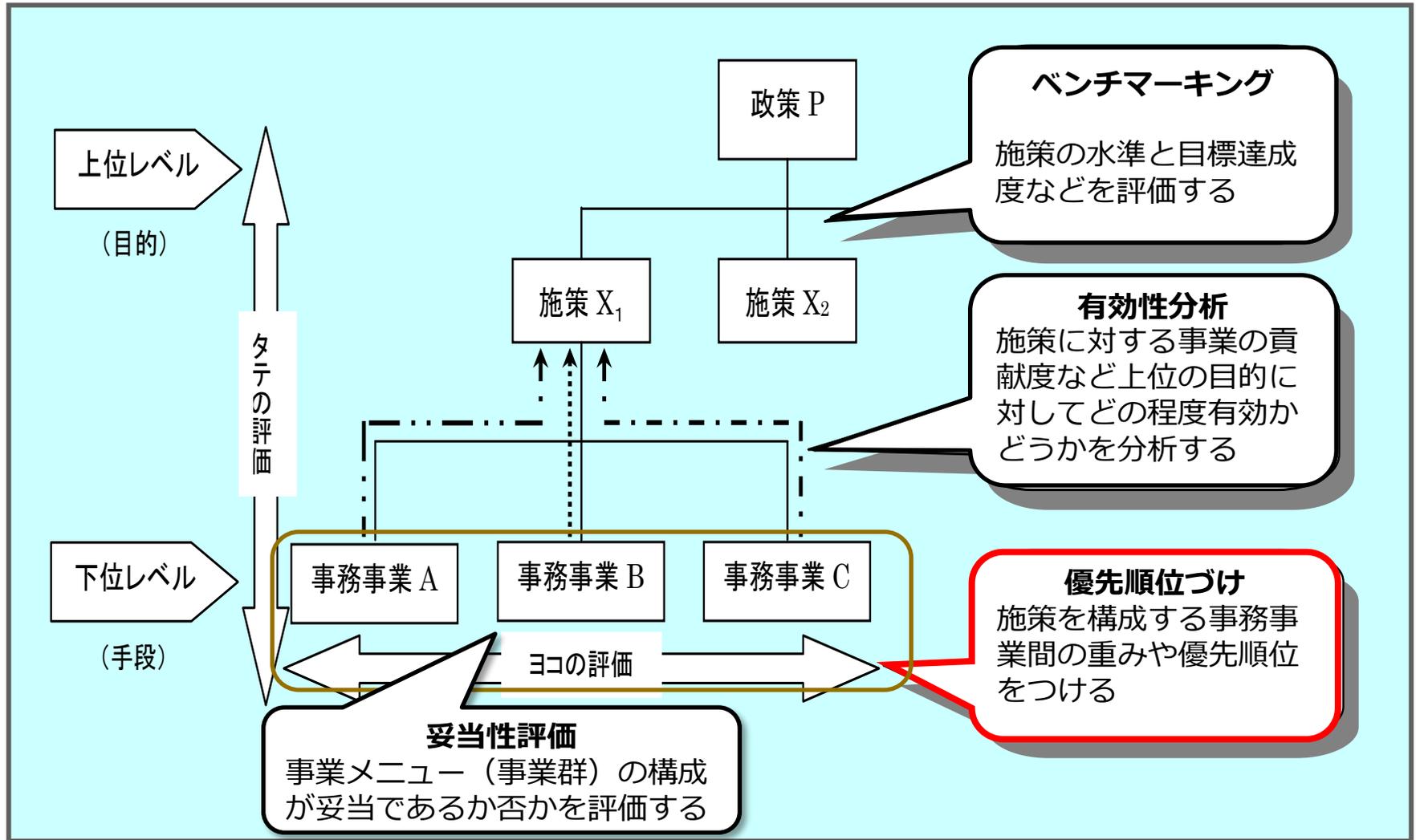


行政評価の導入年度



(注) 『行政評価と行政経営に関する全国自治体調査』(調査対象=全国の市・区810団体、回収率73.8%、2012年実施)

施策評価の基本フレーム



出所：佐藤徹『自治体行政と政策の優先順位づけ』大阪大学出版会、2009年、p.25を一部修正・加筆

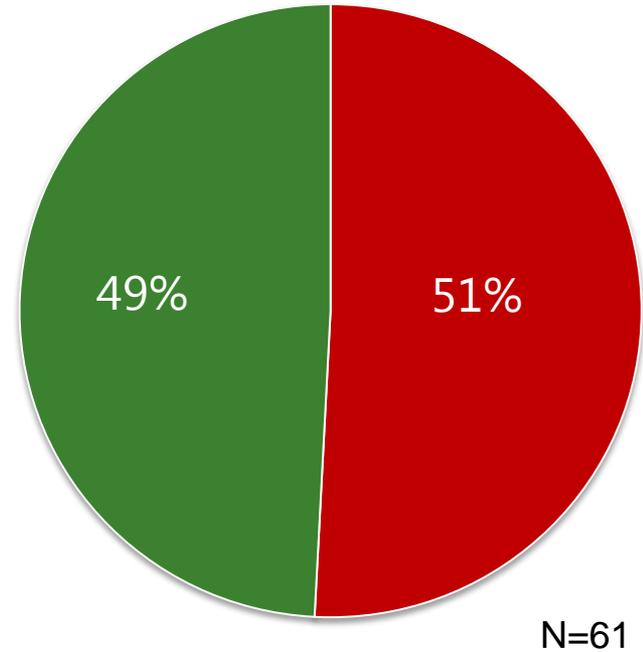
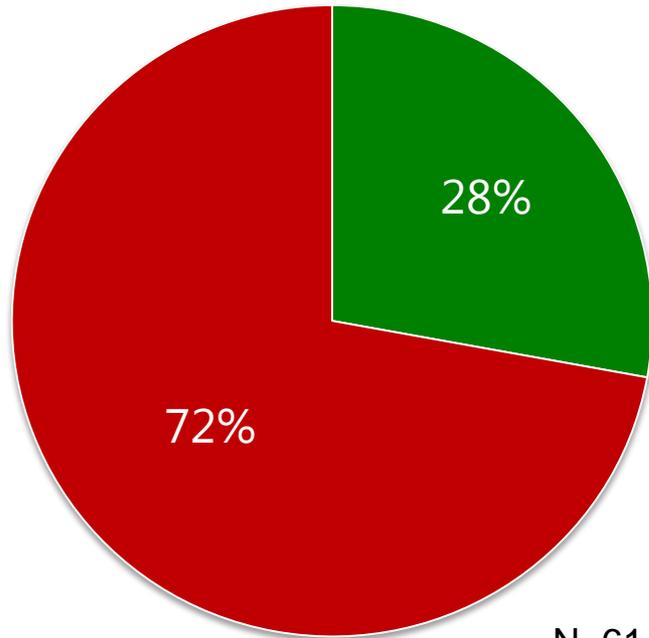
優先順位の表記・公表

■ 優先順位（第1位、第2位、第3位など）

■ 住民にも公表している

■ 優先度（A・B・C、高・中・低など）

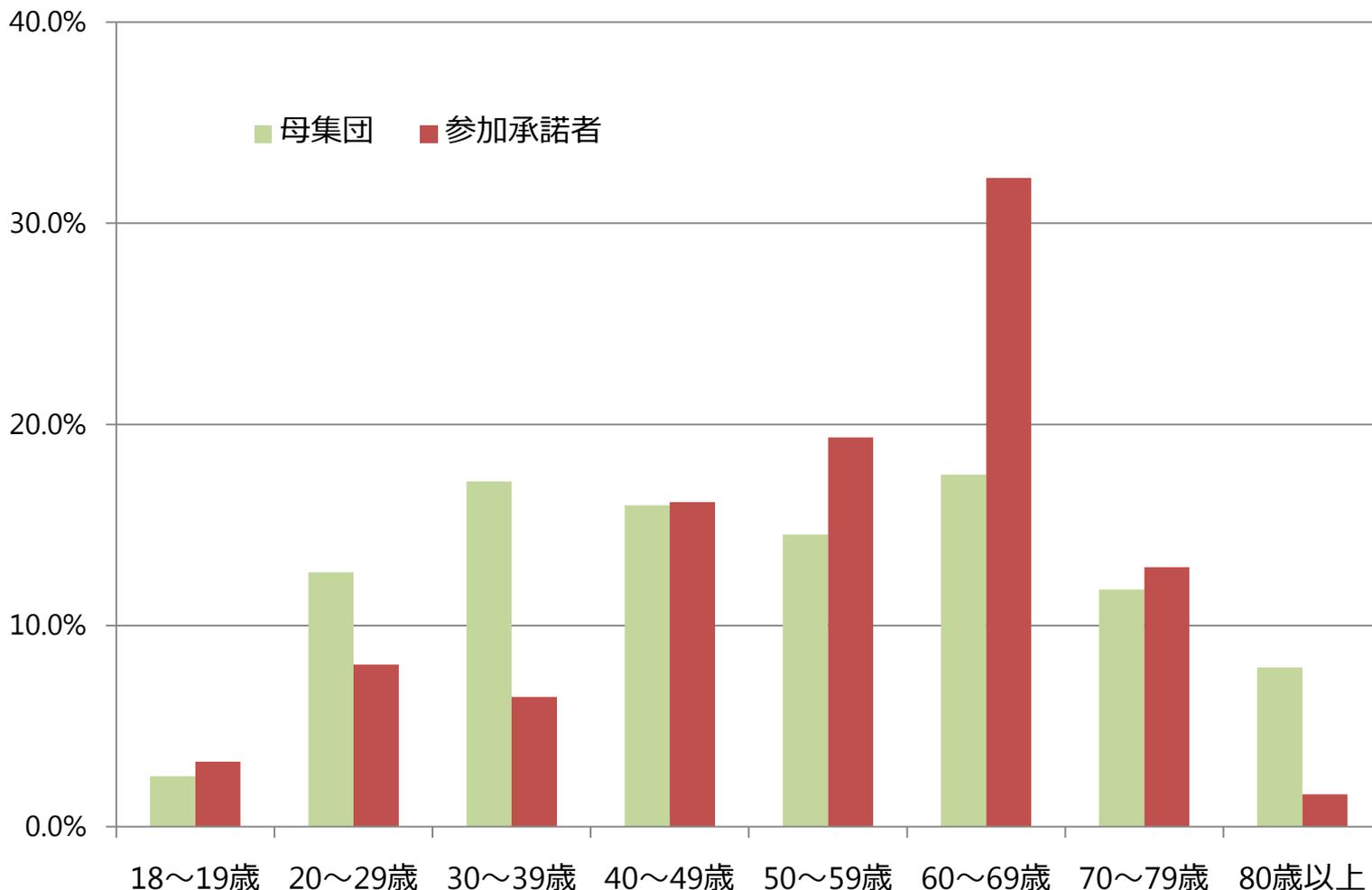
■ 行政の内部資料であり公表していない



行政が用いる主な住民参加の手法

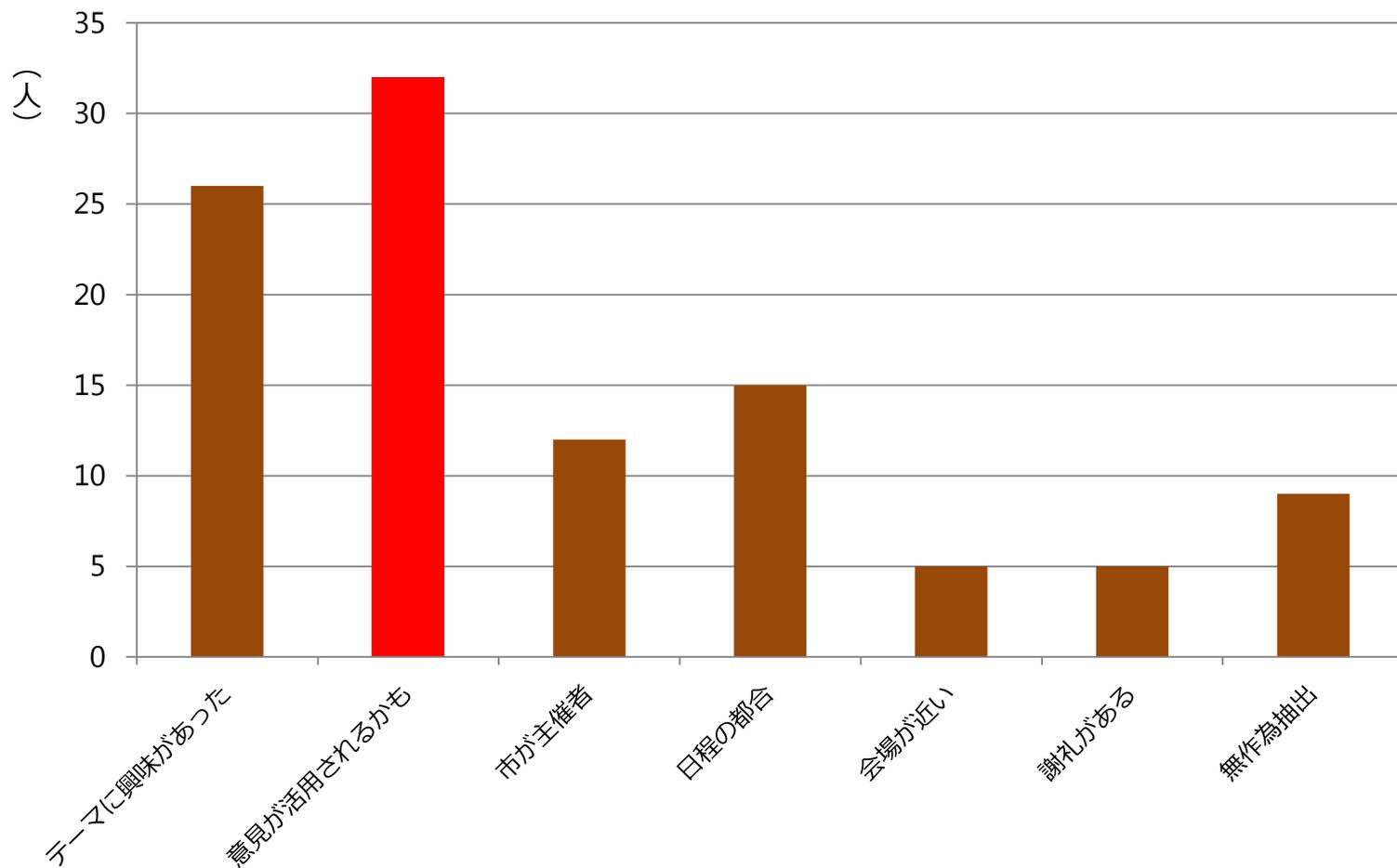
アンケート	パブリック・コメント
グループ・インタビュー	ワークショップ
市政モニター	審議会
意見・アイデア等の募集	市民会議
公聴会・住民説明会	パブリック・インボルブメント
シンポジウム・フォーラム	市民討議会 (PZ)
地域別懇談会	討論型世論調査 (DP)

参加承諾者の年齢構成分布



(注) 参加承諾者とは、たかさき市民討議会VOICE2011への参加を承諾した住民をさす。
出所：『高崎の今後のまちづくりに向けての市民アンケート調査』の結果をもとに作成

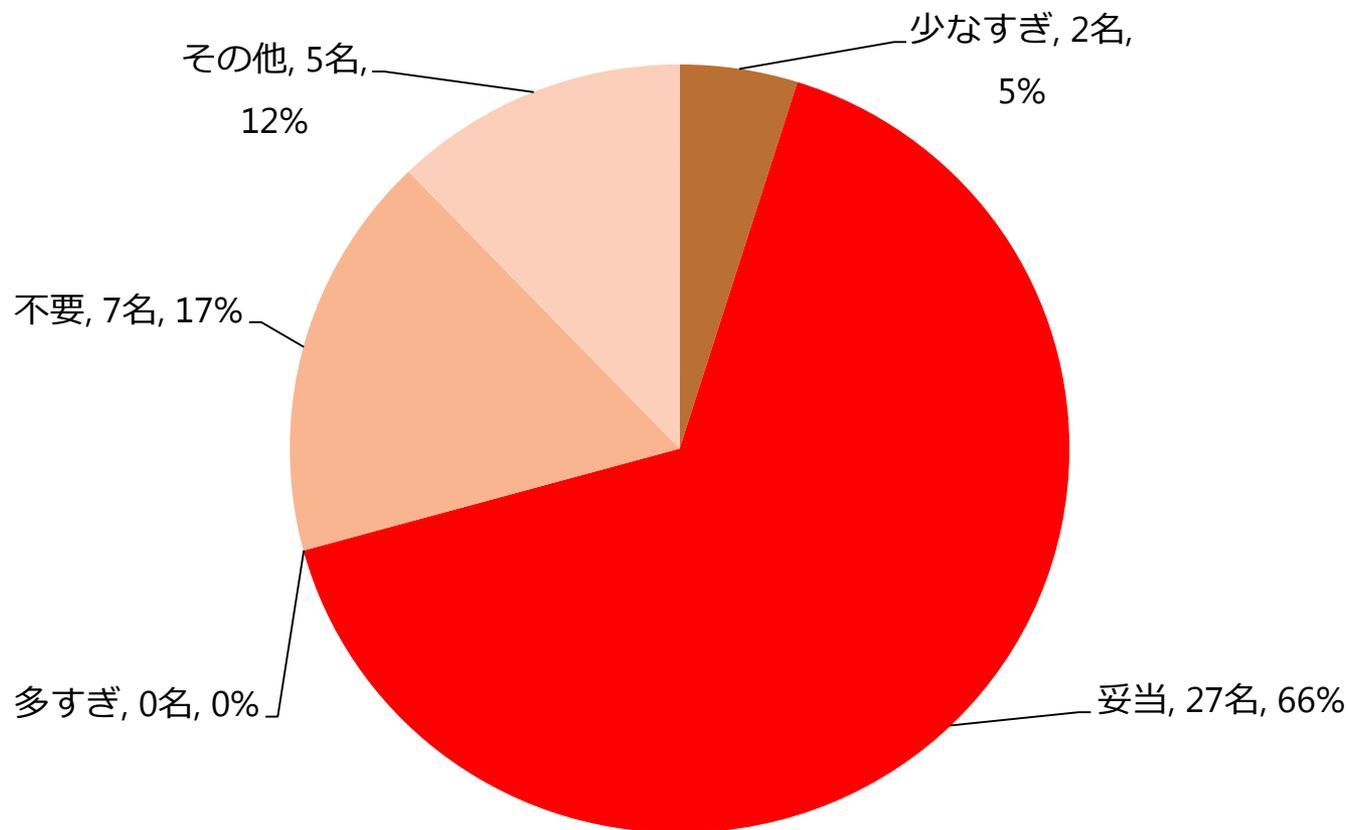
市民討議会の参加理由



(注) たかさき市民討議会VOICE2011の2日目の参加者41名全員の回答結果 (複数回答可)

出所：佐藤徹「討議デモクラシーの実践過程—市民討議会の到達点と課題」『地域社会研究』第22号、2013年3月

謝礼金（5000円）に対する 参加者の評価



(注) たかさき市民討議会VOICE2011の2日目の参加者41名全員の回答結果